

『ささえ愛あさひ通信』 第45号

発行者:朝陽地区住民自治協議会 支え合うまちづくり協議体「ささえ愛あさひ」
事務局 TEL/FAX 213-6170

私たちが目指すのは、

みんなで支え合う 安心のまちづくり・暮らしづくり

新しいメンバー(各地区協議会の幹事さん)を交えて、ささえ愛あさひの活動を進めています。

色々な場面で
言われている
ことですか?

2022年の時点で、
65才以上の者がいる世帯
の約60%が、単身、又は
夫婦のみの世帯



2025年には、
全世帯の中で、単身世帯が
約44.3%に達する...と
発表されています。

具体的にどんな問題が?!

- 少子・高齢化がすすみ、働く世代の減少、公務員の削減、介護や福祉に携わる人の確保が難しくなる(すでに今現在も)
- ほろぼ核家族... 働くママの増加(共働き)、頼れる親が近くにいない。
- 認知症は... 2025年で471万人、2040年で584万人(65才以上の人口が約) 2060年には645万人(65才以上の5~6人に1人)予備軍の人を合わせると、2.8人に1人が該当者と推計されています。

今まで以上に、住民同士の助け合いが必要になってきます。
支え、支えられる人や場所が多いと安心ですね。

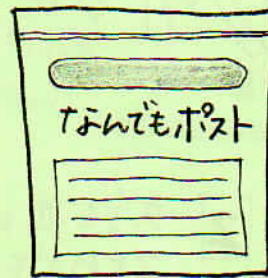
*居場所活動の情報を寄せてください。(朝陽地区社協ささえ愛あさひ事務局) 213-6170

----- き --- リ --- ヒ --- リ --- セ -----

あなたの声を聞かせてください!

今年の夏も暑くなりそうである 熱中症にご注意を。
乗り切るための いい アイデアがあったらお教えて下さい!!

こゝへ
入れてね!



各地区公民館と
朝陽支所に設置しています

朝陽地区の居場所紹介 ⑮

北屋島 ^{いほが}田舎の親戚 ^{しんせき}
 ~ 農は生きる源 ^{みはま} ~ 村松操子 ^{むらまつ みさこ} さん

23年前、子ども達が農業に触れる機会をつくれたら!! と立ち上げたのが「田舎の親戚」です。

これまで、野菜づくり体験や、リンゴの摘花から収穫までの作業体験を開催してきました。

現在は、年に数回「味噌づくり体験」を開催。

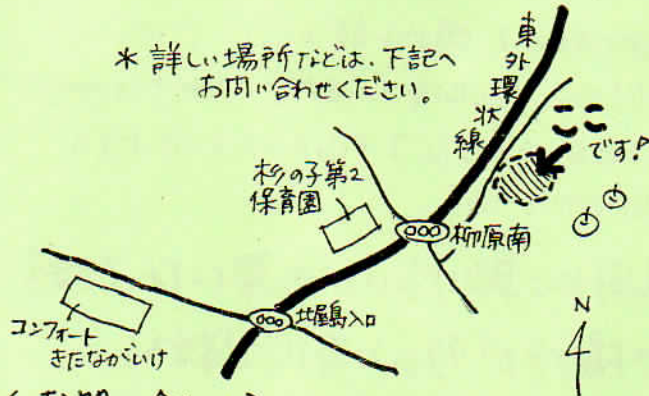
直径1m位の五右衛門風呂のような大釜を使用し、大豆を薪火で炊き上げるころから作った味噌は毎回大好評です!!

大人も子どもも、農業体験をしたい方、農業を通じてやってみたいことがある方 ^{ぜひ}

「田舎の親戚」を使ってください。

水道、トイレ、休憩小屋もあります。

* 詳しい場所などは、下記へお問い合わせください。



<お問い合わせ>

朝陽地区社協 026-213-6170

ささえ ^愛通信に
 新しいメンバーが
 加わりました!!



うちかわ ふうこ
 内川祥子 さん
 (北長池区社協理事)

よろしくお願ひします

あとかき

石渡の「おとなの祭」童心に帰る葛巻歌に参加しています。

音楽って凄いですね、子どもの頃、学生の頃子育て中... その時その時の感情がよみがえってきます。知っているようで歌ってみると、こんな歌詞だったんだと新たな発見もあります。何より贅沢なのは、生の演奏(今はギターです)で歌えること。地区の皆さんと顔を合わせて、懐しいメロディと、普段出さない高い声で歌って... とてもしっかり楽しい時間です。(よしこ)

脳トレ
クイズ
 応募して賞品もゲットしよう!!

1 忘れてら困る「もちもの」が2つあります。何と何でしょう?

《答え》
 1 と

かんぎちかは

2 文字を並びかえてことわざを完成させましょう!! *ヒント; また 災難が!?

2

きな、ちはにらつ

名前

連絡先

前回の答え. □ あじさい と さくら 団ム